

公正、透明、健全な事業活動

国民の財産を預かる会社として、公正な事業活動を追求しています

基本的な考え方

さまざまなステークホルダーに信頼されるためには、公正、透明、健全な事業活動の実施が大切です。健全な企業経営と、外部による公正な事業評価、そして情報の積極的な公開により、十分に理解・納得していただいたうえで事業を進めます。

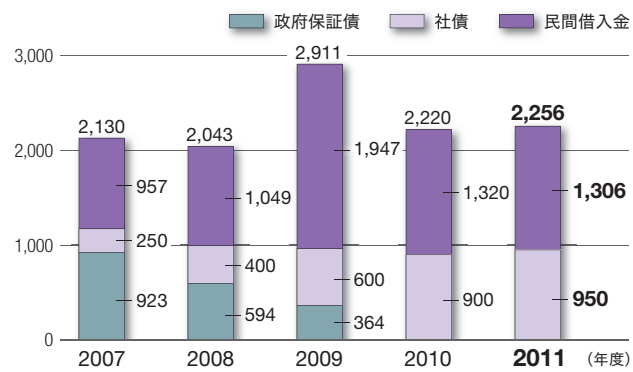
低利かつ安定的な資金調達

投資家や金融機関の皆さまと積極的に対話し、道路建設資金の安定的な調達に努めています

高速道路事業は、建設から管理まで長期にわたる事業となるため、社債の発行や民間金融機関からの借入にあたっては、低利かつ安定的な資金調達が不可欠です。

このため、社債と民間借入のバランスに留意するとともに、事業説明会や個別訪問などのIR活動を継続的に実施し、投資家や金融機関の皆さまへNEXCO西日本に対する理解を深めていただくよう、努めています。

資金調達の推移 (単位: 億円)



株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション

事業説明会、ウェブサイトなどでわかりやすく丁寧な情報提供を心がけています

当社では、毎年7月頃に、東京で事業説明会を開催し、投資家や金融機関の皆さまにご出席いただいています。

事業説明会では、企業情報や決算情報に加え、投資家や金



事業説明会(2012年7月23日)

融機関の皆さまの興味、関心に合わせて、時々の当社をめぐるトピックなどについても、丁寧に解説、説明し、当社の事業に対する理解を深めていただくように努めています。また、質疑応答などを通じて、経営層と直接、対話いただく機会とすることで、双方向コミュニケーションの場としても活用いただいています。

投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています

年度計画公表時や決算発表時など、時機をとらえて、投資家や金融機関の皆さまを個別に訪問し、タイムリーな情報提供に努めています。

今後も、当社の事業に対するよりいっそうの理解促進を図るべく、積極的な情報提供に努めていきます。

担当社員コメント

NEXCO西日本 財務部 財務課
兼東京支社 資金調達室

中田 喜暁 投資家・金融機関との良好な関係構築を目指して



投資家や金融機関の皆さまの当社事業活動に対する理解を深めていただくために、随時、個別訪問を実施し、直接ご説明をさせていただくことで、当社事業活動に関する疑問にお答えするとともに、双方向のコミュニケーションにより長期的・安定的な関係を築くよう努めています。

今後も、タイムリーな情報をわかりやすく提供することを心がけ、良好な関係を構築するとともに、当社事業活動へのさらなる理解を促進していきたいと考えています。

外部評価による透明性確保

事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

NEXCO西日本では事業の効率性・透明性を図るために社外の有識者からなる事業評価監視委員会を設置しています。

当社の高速道路事業について、第三者の立場からご意見をいただき、事業の評価を行い、今後の事業計画に役立てることにしており、内容はウェブサイトでも公開しています。

事業評価監視委員会の開催状況

年度	審議内容	対象区間
2011年度	再評価※1	舞鶴若狭道(小浜西~小浜)、新名神(大津JCT~城陽、城陽~高槻第一JCT、高槻第一JCT~神戸JCT)、京都縦貫道(久御山~沓掛)、四国横断道(徳島東~徳島JCT、徳島~徳島JCT~鳴門JCT)、東九州道(北九州JCT~豊津、椎田南~宇佐、門川~西都) 計10事業232km
	事後評価※2	なし
2010年度	再評価	播磨道(播磨新宮~山崎JCT) 計1事業11km
	事後評価	なし
2009年度	再評価	なし
	事後評価	松山道(大洲北只~西予宇和) 計1事業16km
2008年度	再評価	舞鶴若狭道(小浜西~小浜)、新名神(大津JCT~城陽、城陽~高槻第一JCT、高槻第一JCT~神戸JCT)、山陰道(宍道JCT~出雲)、四国横断道(徳島東~徳島JCT、徳島~徳島JCT~鳴門JCT)、東九州道(北九州JCT~豊津、門川~西都) 計9事業 206km
	事後評価	南阪奈道路(羽曳野~新庄)、江津道路(浜田JCT~江津)、長崎道(長崎~長崎多良見) 計3事業 38km

※1 再評価:

採択後3年を経過して未着工の事業および5年を経過して継続中の事業、再評価実施後3年経過した時点で継続中もしくは未着工の事業について実施し、事業の継続もしくは中止の方針を決定します。

※2 事後評価:

事業完了後5年以内に事業の効果などを確認し、事業の成果に対する説明責任を果たすとともに、必要に応じて適切な改善措置を講じ、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しにも反映します。

不正通行対策

対策を強化することで不正通行件数は年々減少しています

有料道路事業は道路を利用されるすべてのお客さまから公平に通行料金を負担いただくことで成り立っています。レーンを強行突破するなど不正に通行料金の支払いを免れる行為(不正通行)は、公平性の原則を揺るがす重大な違法行為です。

NEXCO西日本では、こうした不正通行者を特定するためのカメラや不正通行を防止する開閉バーを、有人の一般レーンを含む通行レーンに設置しています。また、不正通行を扱う専門チーム「不正通行調査隊」を組織し、不正通行の疑いがある走行のデータ分析や、実態把握のための調査を行い、警察への通報に必要な証拠収集などに取り組んでいます。

不正通行対策



警察と連携した取り締まりの様子



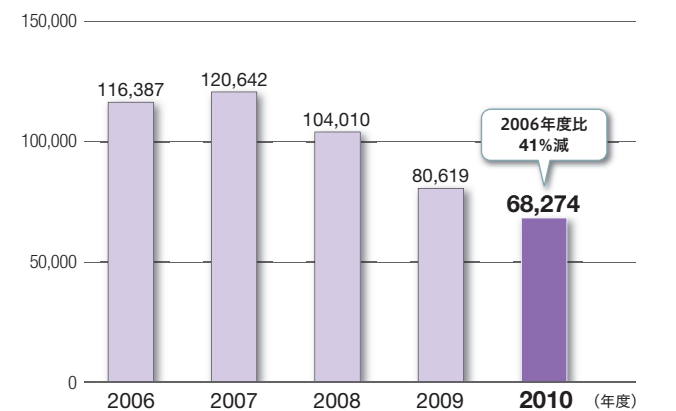
懸垂幕等による啓発

なお、不正通行件数の中には、ETCカードの未挿入や速度超過により正常に課金されないまま停車でさず通過してしまった車両も含まれています。このように未精算のまま通過してしまう車両を防止するために、「お知らせアンテナ」によるETCカード未挿入対策や開閉バーの開くタイミングを遅らせる速度抑制対策も実施しています。

2011年には、9月を「不正通行対策強化月間」として、SA、料金所などへのポスター、チラシの掲示や、高速道路上への看板、横断幕の設置、ラジオCMや新聞を通じた告知、警察との合同取り締まりなどを実施しました。

今後も不正通行は断固許さないという毅然とした態度で、悪質な不正通行の分析調査に注力するとともに、警察の捜査にも積極的に協力し、その撲滅を目指していきます。

不正通行件数の推移 (単位: 件)



不正通行の逮捕事例

日付	事例	内容	当社の対応等
2011年11月	偽造した証明書による不正通行者の逮捕	大阪府警察は11月14日、偽造された災害派遣等従事車両証明書を利用し、高速道路を通行した会社役員を、偽造有印公文書行使および詐欺罪で逮捕しました。	不正に免れた料金の3倍に相当する額を請求
2012年1月	ETCレーン強行突破者の逮捕	岡山県警察は1月18日、山陽自動車岡山料金所で通行料金を支払うことなく強行突破した軽自動車の運転者を道路整備特別措置法違反等で逮捕しました。	不正に免れた料金の3倍に相当する額を請求
2012年1月	ETCを悪用した不正通行者の逮捕	滋賀県警察は1月31日、新名神高速道路の料金所で流入入口情報と異なるETCカードを使用して通行区間を偽り、本来支払うべき通行料金の支払いを不正に免れていた不正通行者を電子計算機使用詐欺罪の容疑で逮捕しました。	不正に免れた料金の3倍に相当する額を請求
2012年2月	ETCレーン強行突破者の逮捕	岡山県警察は2月4日、山陽自動車早島料金所において通行料金を支払うことなく強行突破した軽自動車の運転者を道路整備特別措置法違反等で逮捕しました。	不正に免れた料金の3倍に相当する額を請求

積極的な情報開示

多種多様な情報開示で、透明性の高い経営を推進しています

基本的な考え方

公正、透明、健全な企業を目指すNEXCO西日本では、さまざまな機会に、また多様な情報発信手段により、十分な企業情報、経営情報、経営に影響を及ぼすリスク情報などを開示し、グループ経営の透明性を高めています。

ウェブサイトによる情報開示

アクセスしやすく使いやすいウェブサイト 全面リニューアルしました

ウェブサイトは、ステークホルダーの皆さまにとって最も活用頻度の高い媒体です。当社では、特にお客さま向けには料金・経路検索サービスのほか、渋滞予測情報、工事規制情報やETC割引情報など、きめ細かな情報提供を心がけ、お客さまのニーズに応えるべく日々更新しています。ほかにも、会社情報として、事業内容、記者発表、IR情報や調達・お取引情報などを公表し、事業の透明性向上を図っています。

2011年度にはより使い勝手がよく、きめ細かな情報提供を目指してウェブサイトを全面的にリニューアルしました。また、全面リニューアル後の現在も、料金検索サービスのさらなる機能向上に期待するお客さまの声に応じて、ETC時間帯割引の自動反映を行うなどの改良を随時進めています。

今後も使いやすさ、わかりやすさを追求し、改良を重ねていきます。



ウェブサイト
(会社情報)の
トップ画面



ウェブサイト
(お出かけ情報)の
トップ画面

NEXCO西日本ウェブサイトをご覧ください。
会社情報 ▶ <http://corp.w-nexco.co.jp/>
お出かけ情報 ▶ <http://www.w-nexco.co.jp/>

高い公共性を有する高速道路事業者として 幅広い情報公開に努めています

高速道路の建設・管理に関する情報を公表することで事業の透明性を保つことは、公共性の高い道路事業を担う当社の責務です。このため、記者発表などの新着情報に加え、各事業年度の建設および管理コストの計画と実績などを適宜サイトで公開しています。

2011年度には、NEXCO西日本の主な取り組みを紹介するコーナーを新設したほか、アクセス数が多い内容や会社として積極的に情報提供していきたい情報をトップ画面に配置するなど、全面リニューアルに合わせて構成を見直しました。



ウェブサイト
NEXCO西日本の
取り組み

債券発行状況や株主総会決議事項など 任意開示のIR情報を積極的に発信しています

当社では、株主・投資家の皆さまに、IR情報を的確かつ迅速に発信するよう努めています。

ウェブサイトにおいては、決算情報をはじめ、有価証券報告書等の法定開示書類、債券発行状況、株主総会決議事項などを適時開示しています。



ウェブサイト
IR情報

お取引先さまのご要望に応え 入札情報ページに検索機能を追加しました

お取引先の皆さまと公平正大な契約を取り交わすため、ウェブサイトで各種発注情報を積極的に公開しています。公開している情報は、主な工種における工事件数、発注額、落札率など工事発注に関する情報のほか、入札参加資格審査への申請方法や申請様式などです。

2011年度には、「目的の入札情報にいち早くアクセスでき

るようにしてほしい」というお取引先さまからのご要望を受けて、10月から入札情報ページに、指定条件に合致する入札情報が検索できる機能を付加しました。

担当社員コメント

NEXCO西日本 広報部 広報課
江口 大樹



わかりやすく見やすい ウェブサイトを目指して

広報部では、当社の事業活動内容を広く皆さんに知っていただくため、ウェブサイトを積極的に活用しています。お出かけの際に役立つ「料金・経路検索サイト」や「渋滞予測情報」、事業創造や環境、安全・安心への取り組みの紹介など、ウェブサイトを通じ、幅広い情報発信に努めています。

2011年10月にはウェブサイトをリニューアルし、デザインやレイアウトを工夫して見やすさを追求したほか、調達・お取引の入札公告やニュースリリースといった新着情報、渋滞予測カレンダー、工事規制情報などのページに検索機能を付加し、目的の情報に簡単にたどり着けるよう改良しました。今後とも、お客さまをはじめとしたステークホルダーの皆さまに役立つ情報を、当社ウェブサイトを通じてわかりやすくお知らせしていきたいと考えています。

事業への理解を深めていただくための情報発信

集中工事の実施に先立ち 多様なメディアで広報をしています

当社では、営業中路線の集中工事を実施する際には、テレビ・ラジオCMをはじめあらゆるコミュニケーション手段※を活用し、高速道路をご利用いただくお客さまだけでなく、沿道地域にお住まいの方や、自治体や交通管理者など関係各組織に対して、広報と事前説明を徹底しています。

特に、ウェブサイトやパンフレットでは、工事の期間や規制の情報だけでなく、お客さまに必要なご不便をおかけしないよう工事内容なども積極的に公開しています。

※ SA・PAでの電光掲示板や交通情報提供装置、パンフレット・ポスター、ウェブサイト、電話問い合わせ窓口など



夜間通行止のお知らせ(四国支社)



西名阪自動車道集中工事をお知らせするテレビCM

高速道路の新設・改築について 地元・関係者の皆さまへの事前説明を徹底しています

高速道路を新設・改築する際には、地元自治体や警察、公共施設の管理者などの各関係機関や、計画道路の沿道地域の皆さまと入念な協議を重ねたうえで事業を進めています。事業の全体概要はもちろん、環境対策や事業用地の取得など特に関心の高い事項については、必要に応じて現地での立ち会いや説明会を行い、関係者の方々の十分な納得が得られるまで協議を尽くします。説明会や設計協議では、写真や完成予想の図なども活用するなど、わかりやすい説明を工夫しています。

また、説明会や設計協議の場でいただくご意見については、設計や計画に可能な限り反映させるよう努めています。



事業説明会
(地元・関係自治体説明会)



設計協議



境界立ち会い